

# わが家のアイドル

白浜にお住いの

金指 優太さん・朝夏さんの

長男 <sup>えいたろう</sup> 英汰郎 くん (0歳6か月)

最近は、動きが活発になって

足をバタバタさせることが大好き！！

パパと歌うことも好きで、一緒に歌うよ！



みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください！

## 地域おこし協力隊の活動報告

### 活動報告



皆さん、こんにちは。

下田市地域おこし協力隊中心市街地活性化部門として活動しています青木真と申します。

地域おこし協力隊として、下田で活動をはじめてから今年で2年目になりました。

昨年には、長女が誕生し、家族との時間の大切さや子育ての大変さを日々強く感じております。任期1年目は、コロナ禍により多くのイベントが中止になり、人が集い、街中の活性化に繋げるという活動が難しい状況でしたが、2022年は、コロナ禍も少し落ち着き、黒船祭、蓮杖プロジェクト、伊豆大特産市、バルなど多くの催しを通し

て、地域の方々との連携を深めることが出来ました。今後は、既に下田でも何件か頂戴している写真撮影や映像制作などの仕事を軸にしつつ、下田に根付き、地域の魅力を発信するお手伝いを続けていきたいです。

任期2年目には、下田の市街地情報を発信するInstagramアカウント『SHIMODA DAYS』を開設し、これまで下田の魅力をSNS上で発信してきました。今後も、映像制作、カメラログ撮影、WEBページ制作の経験を活かし、写真のみならず、映像やデザインを通して、下田の事業者や地域の魅力を発信していきます。下田の日常、事業者の素顔・商品等を写すことで、SNSを見た方に、下田の魅力を再発見してもらえような作品をつくってまいります。

また今年度は、あじさい祭後に剪定、処分される紫陽花を利活用して、ドライフラワーを製作・展示するプロジェクトを企画立案し、伊豆急下田駅や道の駅開国下田みなどで展示しました。来年度は、規模を拡大し、下田市の花である紫陽花のドライフラ

ワーを中心市街地の空き店舗や街中に展示することで、下田の新たなフォトスポットを生み出したいと考えています。2023年は、下田出身である日本商業写真の開祖・下岡蓮杖の生誕200周年でもあるため、あじさい祭の時期に、下田の街に紫陽花と写真、そして人々の笑顔が溢れるような取組を企画していきたいです。

私自身もフォトグラファーとして写真を通じ、下田をどんどん活性化していきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いたします。

問合せ先  
産業振興課地域経済促進係

☎23914



公共下水接続助成金拡充へ！！

拡充期限迫る

浄化槽の処理対象人員に応じて 限度額 7万円～50万円の補助 (新築工事に伴うものは除く) ※令和5年3月31日まで



市ホームページQR